

# モモせん孔細菌病春季防除情報

令和2年3月2日  
愛知県農業総合試験場  
環境基盤研究部病害虫防除室

**越冬量が多いと予想します！  
薬剤散布と耕種的防除を組み合わせると防除を徹底しましょう！**

## 1 昨秋の発生状況

昨年9月下旬に行った巡回調査（18ほ場）において、本病の発病葉率は46.2%（平年20.8%、前年30.4%）で過去10年と比較して最も高い状況でした。

本病は、落葉痕部や枝の組織内で越冬することが知られており、前年秋に風を伴う降雨が多いと、翌春の越冬量も多くなります。昨年10月は、中旬に台風19号の影響で風を伴う降雨があったほか、下旬の降水量もかなり多くなりました。

以上のことから、今春における本病原菌の越冬量は多くなっていることが予想されます。

## 2 防除対策

- 菌密度を低下させるため、表を参考にして春季防除を実施しましょう。スピードスプレーヤーで防除する場合、薬剤がかかりにくい場所は手で散布するなどして、かけ残しがないようにしましょう。
- 枝に形成された病斑（図1～3）が最も重要な伝染源です。春型枝病斑は、開花期頃に発生し、落花期には目立つようになるので、ほ場内を定期的によく見回り、枝病斑は見つけ次第、必ず除去しましょう。
- 本病は風を伴う降雨により急速に拡大します。防風ネットの設置、補修を行うなど防風対策を実施しましょう。
- 本病は薬剤散布のみで抑えることは困難です。各種マニュアル（次ページ）も参考にしながら、耕種的防除も組み合わせると各ほ場内の菌密度を低下させましょう。

表 モモせん孔細菌病に対して開花前に使用する主な防除薬剤

薬剤名	使用時期	希釈倍数	本剤の使用回数	成分	FRACコード
カスミンボルドー／ 銅シン水	開花前まで	500倍	3回以内	カスガマイシン、銅	24、M1
コサイド3000	開花前まで	1000倍	-	銅	M1
ICボルドー412	-（※）	30～50倍	-	銅	M1
ムッシュボルドーDF	開花前まで	500倍	-	銅	M1
チオノックフロアブル／ トレノックフロアブル	収穫7日前まで	500倍	5回以内	チウラム	M3

※薬害を生じる恐れがあるので、開花後以降は使用しない。

FRACコードは殺菌剤の作用機構による分類を示す。

FRACコードの詳細は、[https://www.jcpa.or.jp/labo/jfrac/pdf/code\\_pdf01.pdf](https://www.jcpa.or.jp/labo/jfrac/pdf/code_pdf01.pdf)を参照する。

農薬の散布に当たっては、ラベルの表示事項を守るとともに、他の作物や周辺環境への飛散防止に努める。



図1 枝病斑（枝が変色）



図2 枝病斑（芽が枯死し、周囲に亀裂）



図3 枝病斑（変色部と健全部の境に亀裂）

### 3 参考

- (1) モモせん孔細菌病に対する豊橋式枝病斑早期切除技術  
[https://www.pref.aichi.jp/byogaichu/2019/shiryuu/momo\\_sennkou.pdf](https://www.pref.aichi.jp/byogaichu/2019/shiryuu/momo_sennkou.pdf)
- (2) 多目的防災網を活用したモモせん孔細菌病に強い栽培技術  
[http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/brain/h27kakushin/chiiki\\_2019\\_result-c063-03.pdf](http://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/brain/h27kakushin/chiiki_2019_result-c063-03.pdf)
- (3) モモせん孔細菌病防除マニュアル（福島県）  
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/266968.pdf>
- (4) モモせん孔細菌病の防除対策マニュアル（和歌山県）  
[https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070100/070109/gaiyou/kakimomo/kakimomo/seika/seika\\_d/fil/momosenkou.pdf](https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070100/070109/gaiyou/kakimomo/kakimomo/seika/seika_d/fil/momosenkou.pdf)